

## 平成27年度：事業計画書

### A. 研究実践校への助成

時代の課題に応える研究、教育内容を深める研究、地域に根ざして地道に意欲的な研究に取り組む学校の中から、年に数校を選んで支援のための研究助成を行う。

#### 《小学校》

- 特別活動 (福島県) <sup>にしごう</sup> 西郷村立 <sup>おたくら</sup> 小田倉小学校  
〒961-8061 福島県西白河郡西郷村小田倉原中189  
研究主題 「子どもの生活習慣・家庭学習習慣の改善・定着を目指して」  
— 西郷村ノーメディアデーの取り組みを通して —
- 総合学習 (新潟県) 新潟市立 新潟小学校  
〒951-8106 新潟県新潟市中央区東大畑通1-679  
研究主題 「地域社会と一体となって、持続可能な社会の担い手を育てる教育」
- 反転(ICT)教育 (静岡県) 東海大学付属小学校  
〒424-0902 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1  
研究主題 「学び合うことの楽しさを実感する授業の開発」  
— 反転学習(ICT)の活用と体験を通じた知識の定着を目指して —
- 理科教育 (滋賀県) 守山市立 <sup>もののべ</sup> 物部小学校  
〒524-0043 滋賀県守山市二町町252  
研究主題 「自然や科学について考え、活かす楽しさを見いだす子どもの姿を求めて」
- 人権教育 (大阪府) 堺市立 <sup>だいせん</sup> 大仙小学校  
〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町16-1  
研究主題 「聴き合い学び合う授業づくり・学校づくり」
- 理科・生活科 (広島県) 広島市 鈴が峰小学校  
〒733-0852 広島県広島市西区鈴が峰町36-2  
研究主題 「かかわり合い、伝え合いながら、思考を深める子どもの育成」  
— 論理的思考モデルを用いた言語活動をとおして —

## 《中学校》

- 情報教育 (秋田県) 鹿角市立 <sup>かづの</sup>八幡平<sup>はちまんたい</sup>中学校  
〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平諸田4-1  
研究主題 「望ましいライフスタイルの構築を目指して」  
— 幼・保・小・中による取組を通して —
- 全教科・全領域 (岡山県) 岡山市立 <sup>おかき</sup>岡輝<sup>おかき</sup>中学校  
〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町12-17  
研究主題 「〈聴く・伝える・つながる〉が実現できる授業づくり」  
— 協同学習の実践とその継承 —
- 総合学習 (福岡県) 筑紫野市立 <sup>ちくざん</sup>筑山<sup>ちくざん</sup>中学校  
〒818-0021 福岡県筑紫野市下見585  
研究主題 「メディア依存のスパイラルに陥ることを防ぐための総合的な  
対応力の育成」
- 理科教育 (沖縄県) 宜野湾市立 <sup>ぎのわん</sup>宜野湾<sup>ぎのわん</sup>中学校  
〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道1-15-1  
研究主題 「生物多様性のための環境保全の態度を育成する理科教育」  
— 外来生物を教材とした実践を通して —

## B. 教育現場（地域研究団体）への助成

学校の教諭や大学教官等学校現場を主体とした研究団体・学会等に対して、支援のための助成を行う。研究テーマは、教科領域のほか、特別活動、カウンセリング、道德教育、情報教育、障害者教育、環境教育、国際理解教育、野外教育等の分野。

### 《言語技術教育》

- 高知県 — 言語技術教育研究会 (代表者：梶原和美／香美市立山田小学校)  
〒782-0032 高知県香美市土佐山田町西元町2-4-5 (事務局)  
研究主題 「言語活動の充実を図る言語技術を使った授業展開の研究」

### 《家庭教育》

- 日本家庭教育学会 (会長：足立 叡／淑徳大学教授)  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-11 瀬川ビル2F (事務局)  
研究主題 「家庭教育に関する理論的・実践的な研究」

## C. 野外教育活動の推進

野外教育活動（とくに自然体験活動）のいっそうの充実と推進に向けて、指導者養成の講習会を実施する。また、野外教育活動に関する実践記録や情報等を集めて編集する機関誌「野外教育情報」ニュースレターを発行して、教育関係の諸機関・諸団体に配布し、知見の普及を図る。

### ○ 野外教育活動の指導者の講習会

年に複数回の開催を予定。講習会はパッケージド・プログラム「IORE SHEET（アイオレシート）」を教材とし、野外教育活動（自然体験活動）に関する知識、指導法、安全対策等を伝え、指導者の養成を図る。対象は、学校教育関係者、社会教育関係者、大学等の学生、民間の青少年育成に携わる指導者など。

平成27年度は次の1回は確定しているが、他は長野県などで検討中である。

10月10日(土) - 10月12日(月・祝) 2泊3日

実施場所は、国立赤城青少年交流の家（群馬県前橋市富士見町赤城山27）

### ○ 機関誌「野外教育情報」の刊行、配布

野外教育活動に関する実践事例や各種の情報、特集テーマの下での記事を掲載した機関誌「野外教育情報」をニュースレター形式で年2回（7月／1月）発行し、教育関係の諸機関・諸団体等に配布する。

## D. 医学・医療教育及び教育技術への助成、研修支援

医学・医療分野での教育及び教育技術の充実・刷新に寄与するため、インターネットを利用した教育や研修（eラーニング）を計画している学会・医療機関・大学等に対して、MED I@（メディアアット）システムの導入、コンテンツ等の制作と配信、当該システムを利用したeラーニングの整備・運営等に対して、助成や支援等を行い、広範な普及・展開をめざす。また、活動を継続して維持できるように、賛同者による会員の組織づくりも行う。助成・支援件数は、年数件程度と見込み、金額は1件あたり年500万円程度とする。

### ○ 日本癌治療学会の大会講演等の収録、eラーニング

一般社団法人日本癌治療学会が行う大会や学術集会等における講演・講義を収録し、ホームページへの掲載をするほか、eラーニングとして「がん医療ネットワークナビゲーター」に関する、教材コンテンツの収録・配信・管理、システムの保守・運用、視聴履歴等の管理などを行う。

### ○ 医学系大学のeラーニング

学生・卒業生に対して、歯学に関する講義を提供するためのeラーニングの運用・管理、コンテンツの収録・配信を行う等の支援（鶴見大学）、男女共同参画事業として、離職した女性医師等の復職をねらいとするeラーニングにおいて、医療情報を提供するためのコンテンツの収録・配信等の支援（東京女子医科大学）などを行う。

### ○ 学会の大会等における講演のインターネット配信

一般社団法人日本アレルギー学会、一般社団法人日本再生医療学会、日本小児アレルギー学会、日本臨床外科学会の総会、年次大会等における講演・講義を収録して、インターネット上にコンテンツを配信し、参加できなかった学会員等がeラーニングで視聴できるように支援する。

### ○ 学会・機関等の市民公開講座のインターネット配信

独立行政法人日本環境保全機構などが行う市民のための公開講座において、講演・講義を収録・配信（LIVE配信の場合を含む）し、一般市民がひろく視聴できるように支援する。

## E. 研究報告誌の刊行・配布

前年度に研究助成を行った研究実践校や地域研究団体・学会等の研究成果を掲載した「教育研究情報」誌を年1回発行し、教育研究資料として教育関係の諸機関・諸団体に配布し、成果の普及を図る。

### ○ 「教育研究情報」の刊行、配布

平成27年10月に発行する。前年度に研究助成を行った、研究実践校、研究団体や学会等の研究の成果を掲載して、教育関係の諸機関・諸団体に配布（寄贈）する。現在は第46号まで発行している。

## F. 世界点字作文コンクールへの支援

視覚障害者の方々に点字と音声の架け橋を築きたいとの願いから、オンキヨー株式会社と毎日新聞社点字毎日が共催で平成15（2003）年に創設、その後、世界規模（現在は世界4地域128か国）に発展した。

国内・海外両部門で優秀作品を選考・表彰し、入選作品は、点字と活字を併記した作品集として、全国の盲学校、点字図書館、公共図書館1,200個所に寄贈している。

視覚障害者を対象としたこの作文コンクールを、共同開催の形で支援する。

## G. スポーツを通じた教育：ゴルフアカデミー

ゴルフの教育的効果に着目して、小学高学年～中学生の児童・生徒を対象として、昨年ゴルフアカデミーを開講した。ゴルフには、人に迷惑をかけないこと、フェアプレーの精神、感情のコントロール、集中力の発揮、礼儀やマナーの遵守、他人との協調性など、子どもたちの心を育む要素が多く見られる。

実際のゴルフ場を実施場所とし、ゴルフに親しみゴルフを楽しみながら、児童や生徒の豊かな人間性を育み健全な育成につとめる。

女子プロゴルファーや野外教育指導者等を講師として、ゴルフ実技のほか、マナーやルール、正しい日本語の表現とコミュニケーション、キャンプなどを習得する。

募集定員は10人とし、公募にて行う。キャンプ自炊実費以外の参加費は無料。

授業は、週1回日曜日、5月～12月に開催し、1年で必要な課程を修了する。

## H. 調査・開発

医学・医療関係者等のためのeラーニング（講演や講義、情報などをインターネット上に配信することで、在宅視聴などによる教育や研修等を可能にするシステム）に関わる事項について、諸学会や諸団体等に関する調査・研究を引き続き行う。

以 上

# 平成27年度収支予算書（正味財産増減計算ベース）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息		10,000	10,000
基本財産受取配当金	620,000		620,000
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息		500	500
③ 事業収益			
講習会事業収益	650,000		650,000
医学・医療e-ラーニング事業収益	6,000,000		6,000,000
④ 受取寄付金			
受取寄付金	41,800,000	5,200,000	47,000,000
⑤ 雑収益			
受取利息等		50,000	50,000
経常収益計	49,070,000	5,260,500	54,330,500
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	1,777,300		1,777,300
会議費	900,000		900,000
旅費交通費	850,000		850,000
通信運搬費	350,000		350,000
消耗什器備品費	145,000		145,000
印刷製本費	2,000,000		2,000,000
助成金等	38,400,000		38,400,000
研究実践校	2,000,000		2,000,000
教育現場	400,000		400,000
野外教育	1,800,000		1,800,000
調査・開発	3,600,000		3,600,000
医学・医療e-ラーニング	28,000,000		28,000,000
ゴルフアカデミー	2,600,000		2,600,000
賃借料	2,339,500		2,339,500
雑費	200,000		200,000
委託費	500,000		500,000
支払寄附金	3,000,000		3,000,000
② 管理費			
役員報酬		0	0
給料手当		760,700	760,700
会議費		400,000	400,000
旅費交通費		250,000	250,000
通信運搬費		700,000	700,000
消耗什器備品費		100,000	100,000
光熱水料費		170,000	170,000
賃借料		1,000,000	1,000,000
租税公課		0	0
支払負担金		60,000	60,000
雑費		400,000	400,000
支払手数料		1,300,000	1,300,000
支払寄附金		0	0
退職給付費用		0	0
経常費用計	50,461,800	5,140,700	55,602,500
当期経常増減額	△ 1,391,800	119,800	△ 1,272,000

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,391,800	119,800	△ 1,272,000
一般正味財産期首残高			25,521,280
一般正味財産期末残高			24,249,280
II 指定正味財産の部			
指定正味財産増加額	620,000	10,500	630,500
基本財産運用益			
基本財産受取利息		10,000	10,000
基本財産受取配当金	620,000		620,000
特定資産運用益			
特定資産受取利息		500	500
指定正味財産減少額	△ 620,000	△ 10,500	△ 630,500
一般正味財産への振替額	△ 620,000	△ 10,500	△ 630,500
投資有価証券評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			31,846,000
指定正味財産期末残高			31,846,000
III 正味財産期末残高			56,095,280

[注記] 平成27年度予算のうち、一般正味財産期首残高は、本年度（平成26年度）修正予算に掲載の期末残高を示している。

また、指定正味財産における基本財産投資有価証券の評価損益は、3月末時点の時価評価のため、本予算編成時には未算定である。